



Sékmés (セクメース) は「幸運の」という意味

**Labas！ ラバス！ 国際交流員のアスタです。**

年明けおめでとうございます！八丈島では令和5年が始まりましたが、皆さんがこの記事を読んでいる時間によっては、7時間の時差があるリトアニアではまだ令和4年かもしれません。これから海の向こう側で祝いが始まりますが、リトアニアでは新年をどうやって迎えるか、知っていますか？

リトアニアの年越しはクリスマスの次に来る大きなお祝いで友達で過ごすことが多いです。年末を精一杯楽しく終わらせると来年もいい年になるという言い伝えがあり、それに従って年越しを元気よく楽しもうとします。若者は友達の家を集まって、ゲーム、パーティーをすることが多いです。年配の方々は、家族同士で集まって、ごちそうを食べたり、テレビのコンサートを聞いたりしながら、夜を過ごします。家の中で新年を迎えることが多い一方で、レストラン、演劇、映画館等で夜を過ごしている人もいます。

八丈島の皆さんがちょうど初日の出を見ている時にリトアニアの人々は新年まで残りわずか15分を過ごしています。23時45分になったら、皆さんはやっていることを止め、飲み物を取って、厚着をして外に出かけます。普段寝ている町が歩いている人の声で目覚めて、人々は高い所か広場に向かいます。10、9、8……3、2、1秒のカウントダウンで寒い夜の空があらゆる方向から打ち上げ花火に明るくされます。「トーン」、「トーン」の花火音と「Valio！ヴァリオ！（万歳）」の喜び声が同時に響きます。皆さん新しい年に乾杯して、お互いにハグやキスを交わして、嬉しい気持ちを分け合ってから家に戻って祝いを続けます。

これで、八丈島もリトアニアも令和5年に入りましたね。これから残りの世界の定番です！皆さん、今年もよろしくお祈りします！

**またね。IKI！**

■問い合わせ■ 企画財政課企画情報係 電話 2-1120

町ホームページで  
Astaの日記を更新  
しています。  
ぜひ見てください！



国際交流員のページ